

ふくしま

電友会だより



電友会

第 49 号

平成 31 年 1 月 1 日

NTTグループ OB・OG の会

福島地区電友会事務局

Tel・Fax 024-531-7421



謹賀新年

年頭にあたって

福島地区電友会
会長 齊藤 政夫

新しい年を迎え、会員の皆様そしてご家族の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は 2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定すると共に、復興支援の目的で福島市の県営あづま球場で、野球及びソフトボールの試合が行われる事となり、福島県民にとりましても久し振りに明るい話題となりました。

平成 30 年度の活動は、「心豊かに・健やかに・ますます輝く毎日」を基本方針としてスタートしましたが、年が明けて今年度も残すところ 3 ヶ月となりましたことから、昨年末までの活動状況のポイントを報告致します。

一昨年から事務局の常任幹事の体制を強化致しましたので、毎年 8 月に地域担当幹事の皆様をお願いして、会員の皆様の近況等を聞き取り調査しておりますが、その情報のデータベースの精度向上及び現行化を図る事が出来るようになりました。

その一部を紹介しますと、会員の平均年齢ですが、一昨年は 74.7 才で、昨年は 74.0 才と若干ですが若返っております。理由としては、ここ 1～2 年は、65 才前後の新入会員が



数多く入会して頂いたためと考えております。

また会員の皆様の健康状態ですが、「元気で」と答えた方は一昨年と殆ど変わらず 93% でした。更に居住状況については、奥様及びご家族と同居されている方は、昨年と殆ど変わらず 89% でしたが、一人住まい及び施設入所の方は昨年より若干ですが増加の傾向にあります。次に活動の活性化を図るためのバロメーターになると考えております、重点項目 3 点の取組み状況について報告を致します。

一点目の会員の拡大であります。ここ 1～2 年は、会員、役員の皆様のご協力により、会員数の大幅な純増(H28 年度比 30 名)を図る事が出来ましたが、更に今年度からスタートしました NTT の契約社員を対象とした準会員募集の取組みも昨年末で 9 名の準会員が入会しまして、概ね順調かと考えております。

二点目のサークル活動の活性化であります。各発起人の皆様のご協力により、一昨年は「そばを楽しむ会」昨年は「ボウリング」サークルが新たに発足しまして、現在 9 サークルが概ね月一回のペースで活動を楽しんでおりますので、概ね順調かと考えております。

三点目は会員の皆様の総会等、各種会合への参加率のアップですが、一昨年の総会は目標の参加率 30% をクリアして、役員一同一安心でしたが、昨年 4 月の総会は、残念ですが参加率 30% をクリア出来ませんでした。今後とも、役員一丸となって取り組んで参りますので、会員の皆様のご協力の程宜しくお願い致します。

最後になりますが、会員の皆様の今後益々のご健勝を祈念致しまして、大変簡単ではありますが、新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

NTT東日本 理事
福島支店長 山口 圭介

明けましておめでとうございます。

福島地区電友会の皆様には、日頃よりNTT福島グループの事業運営や「青葉学園への募金」などボランティア活動に関しましても、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



昨年は大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、各地で相次いだ台風被害など、災害が非常に多い年でした。NTT福島グループにおいても、技術者やポータブル衛星車、特設公衆電話、移動電源車を被災地に派遣するなど、グループ全体で様々な支援を行ってまいりました。そして、福島県様をはじめ、多くの自治体が行っている防災訓練には全て参加し、各自治体との緊密な連携を確認し関係を深めてきています。

また、近年IoT、RPA、AIなどのICTソリューションが急速に進展しており、自治体や企業が抱える各種課題に対しこれらの活用を提案するなど、自社業務も含めNTTグループ全体でデジタルトランスフォーメーションを推進しています。

福島支店においても、稲の生育状況の把握や圃場の水位監視といった生産者の課題を、各種センサやカメラなどを用いて解決する農業IoTサービスや、働き方改革に伴い業務効率化を検討するお客さまが増加する中、RPA（商品名 Win Actor）により定型的な繰り返し作業や大量データを扱う作業を自動で行うソリューション、そして最新型のAIカメラを活用した小売店舗向け万引き防止AIサービスなど、様々

なICTソリューションの提供でお客様の課題解決に取り組んでいます。

さて、いよいよ来年には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、野球、ソフトボール競技が福島で行われることにより、福島は世界から大きく注目されることとなります。NTT福島グループも一丸となって、この最高の舞台を演出するお手伝いに、全力で取り組んでまいります。

今後も「地域とともに歩むICTソリューション企業」として、福島の皆様を全力でサポートするとともに、福島での通信事業の新たな未来を切り拓いていきたいと考えています。

これらの取り組みを進めていくために、電友会の皆様にはお力添えをいただくことも多々あるかと思えます。今年も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、貴会の今後益々のご発展と会員のみなさまのご健康・ご多幸を心より祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



亥年生まれの方々の抱負

(掲載順不同)

■安藤 信さん

明けましておめでとうございます。早いもので七度目の亥年がめぐって来ました。思ってもみなかった歳となり驚いております。従来から体が弱かったので皆様方には大変お世話になり今日に至っていることを肝に銘じて心より感謝するとともにお礼を申し上げたいと思います。退職してから大変長い時間が経過してしまいました。今後を語るには少しおこがましいのですが、残っている時間があるとすれば病気を静め、ささやかな日常を送りたいと願っています。最後に皆様のご多幸とご健康をお祈りします。



■伊藤 滋見さん

明けましておめでとうございます。早いもので退職後二十六年、七回目の年男ですが、現状は頭(中表とも)×、目×、歯×、足腰△、酒○です。経年劣化に逆らってボケ防止に囲碁の他、山登り、パークゴルフ等を楽しんでいます。囲碁では対戦相手の見損じもあって三年ぶりに昇段し、登山は里山トレッキング倶楽部の方々に助けられ栗駒、安達太良に登り満足の一年でした。これからも病んだ体をなだめながら、東京オリンピックの頃まで現状維持できればと思っています。



■小林 耕喜さん

明けましておめでとうございます。電友会事務局から原稿の依頼が来るまで、亥年の年男とは全く気がつきませんでした。周囲からおだてられてのヤボ用の毎日で、気が鈍感になったものと思います。人生最後の八十四歳の年男の年を、楽しく有意義に送りたいと念じております。



■高橋 徹さん

新年明けましておめでとうございます。あっという間に六回目の猪の年を迎えることになりました。幸いなことに、これまでは大病を患うこともなく過ごしてこれたことは、丈夫に育ててくれた親への感謝の気持ちはもとより、すべてが幸運であったと思っております。これからも健康第一に軽運動等を楽しみながら毎日を過ごしていけたらいいと考えております。電友会の皆様、今後ともよろしくお祈りいたします。



■田中 利美さん

新年明けましておめでとうございます。年男も今年で六回目になりました。これまで健康でいられるのは、家族はじめ皆様のお陰と大変感謝しております。今のところ一年の大半は仕事ですが、趣味にも日々を費やしております。趣味はカラオケ、蕎麦打ち(まだまだ未熟)ですが、さらに精進しなければと思っています。また、北海道旅行を計画していますが、行きたい場所は五稜郭、小樽などを考えています。仕事も趣味も旅行も健康でないとできないので、日々の運動はもとより健康診断なども必ず受け、健康管理をしっかりとしなければならぬと考えております。これからも”元気”をモットーに仕事や趣味、そして旅行もできるように日々を過ごしたいと思います。最後に電友会の皆様、今後ともよろしくお祈りいたします。



■佐藤 憲幸さん

明けましておめでとうございます。六度目の年男を迎えることが出来ました事、大変嬉しく思っています。現在は寝たきりの九十七歳の母親を妻と二人で介護しております。又、町内会活動に十一年間携わっています。健康維持のため毎日5~6km歩いております。次の年男も五体満足で迎えられる様、



健康管理に注意し毎日の生活を大事にして行きたいと思います。

《その他の年男の皆さん》

- [1923 年生] 片平 善勝さん 赤間 清さん
金沢 兵衛さん
[1935 年生] 池田 雄一さん
[1947 年生] 斎藤 隆さん 鹿島 茂一さん
斉藤 英夫さん
[1959 年生] 椎名 広幸さん



新入会員紹介

(掲載順不同)

■伊藤 通志さん

みなさまのお仲間入りをさせていただくことになりました、伊藤通志と申します。昨年の6月末をもちましてNTT東日本を退職し、幸いにも株式会社TTKに再就職いたしました。昭和56年に当時の電電公社に入社し、福島、仙台、山形と他の地域もありましたが、主に東北南3県に勤務いたしました。職種としては所内系エンジニアリング業務、設備計画業務が主な仕事でしたが、後半は開通業務やサービスセンターにて所外系業務に携わり、みなさまのあたたかいご指導、ご協力をいただき、多くのことを学ばさせていただきました。おかげ様で所内系に留まらず所外系業務にも携われ、多くの方々と交流を持てたことが私の一番の宝物になっています。特に趣味や特技といった



ものは一切もちあわせていませんが、機械式時計を眺めることと、楽天イーグルスの応援がちょっとした楽しみです。また、山形時代に蕎麦にはまり、美味しい蕎麦屋さんを探しては食べに行っています。今回、電友会に入会させていただき、諸先輩の方々との交流を通し、新たな楽しみを見つけ、これからの人生をより楽しく充実した生活にしたいと思います。至らない点の多い私ですが、よろしくお願ひします。

■菅野 由一さん

昭和52年に電電公社二本松電報電話局線路宅内課に勤務し、平成30年NTTインフラネット福島支店を最後に退職しました。通信設備の保守建設等に携わってまいりました。職場の先輩及び同僚の皆様にご指導頂き退職まで無事務めることができました。数年前から体調が良くなく早期退職となりましたが、現在病気治療を続けております。早く元気になり皆様と楽しく人生を歩みたいと思いますのでよろしくお願い致します。



■松本 高幸さん

昭和48年10月1日に千葉県柏電報電話局線路宅内課に採用後、昭和53年12月1日に福島電報電話局第一線路宅内課(福島LMC)に転勤し、現在は、福島災害対策室(花園ビル)に契約社員として勤務しています。趣味は、スポーツ観戦が主となりますが、電友会からボウリング大会の情報を頂き、参加する方向で調整していましたが、当日はどうしても都合がつかず、不参加となってしまいました。電友会にはいろいろなサークルがあり、皆さんが楽しく過ごしていることを知り、サークルを介し旧知の方々とお会い出来ることを楽しみにしています。準会員としての入会ですが、皆様からのご指導を頂ければと思っていますので、よろしくお願ひします。



■池田 吉明さん

昭和46年4月神奈川県藤沢電報電話局に採用になり、平成30年3月に郡山支店での退職まで、47年間勤めさせて頂きました。よくもこんなに永い間勤められたと、自分でも感心しております。これも勤務先々での、諸先輩方々からのご指導、ご鞭撻で勤めあげられたものと思っています。近々まで何もすることがなく過ごしてしましたところ、近くにおります同期の方から電友会の誘いを受け、入会させて頂きました。サークルを介して諸先輩・同期の方々とこれから深く繋がっていきたいと思っております。お世話になると思います。どうぞよろしくお願い致します。



《その他の新入会員の皆さん》

相澤 雅宏さん 安孫子 忠一さん

■ご冥福をお祈りします

○八木田 幸男 様

(平成30年8月13日 享年92歳)

○愛澤 寛 様

(平成30年9月13日 享年86歳)

○山崎 道世 様

(平成30年10月8日 享年92歳)

○根本 勝四郎 様

(平成30年11月22日 享年77歳)

○二瓶 五郎 様

(平成30年12月4日 享年91歳)



趣味のコーナー

【陶芸】尾形 忠次さん

老いて楽しく 泥弄り

粘土を捏ねて もう十数余年

早いもので、泥を捏ねて作品造り、どんな物を作陶するか、花器か、盃か、ぐい飲みか、丸い徳利か、四角い徳利か、抹茶椀か、皿類か、井類か、飲椀か、汁椀か、香炉か、等々作陶種



さまざまな香炉

類としては限りなく頭上に浮かび上がって来るのですが、よし、これで行こうとなるまではなかなか定まらない年齢になったのかも知れませんが、次はコレ、その次はアレかな等と考えながら作陶を続けているのが現状です。



水車小屋の香炉

福島市が国と県の高齢者の生き甲斐と、健康づくりの推進モデル事業の指定を受けて、福島市老人センター施設内に「陶芸小屋」と「陶芸プロ

パン窯」を併設し、60歳以上を対象とし陶芸教室を開講し、毎年「市政だより」により陶芸教室の会員を募集し、現在46名陶芸クラブ（あらかわ楽陶会）として、1. 作陶活動、2. 作品展、3. 研修会、4. 奉仕活動を行う等し、高齢者相互の親睦を深め、心と技の健康交流の場として、相互に助け合いながら、クラブの発展に努めるために、私も会員の一人として合流させてもらっております。



フクロウの香炉

好い年をして、飽きもせず、泥を弄って、プロの陶芸家にもなれず、美術展に出店するでもなく、土弄りを続けております。



置時計

しかし、陶芸とは奥深いもので、本焼き時の窯詰は位置により、出来不出来が決まるので窯詰だけは、クラブの場合、自分勝手に窯詰は出来ませんので「盲目と無言の戦」とでも申しますか、慣れれば慣れるほど、窯詰の位置、特に

窯内の高さ、低さによって完成度を左右することがあり、理想的な色彩の製品が出来なかったり、お互い釉薬が飛び散ったりして、お互いの完成品に迷惑をかけることもあるので、釉薬の性質等の知識を先輩等からの注意、指導を得ながら、自分なりに習得し、少しでも迷惑をかけないよう努力に務め、素晴らしい作品をもう少し出来るよう頑張ってみようと考えております。



自分の作品に見入る尾形さん

今更考えるに、陶芸を現役時代から始めていれば陶芸の設備、陶芸小屋、ガス窯等小さくとも、自分勝手に何時でも使える設備があり、お友達にも、近所の人々にも、作品をお分け出来たろうにと考える今日この頃です。

会員の社会貢献活動

◆町田 勇さん (福島市)

山岳遭難事故防止や捜索救助活動に貢献し、福島県山岳遭難対策協議会より感謝状。(H30年10月)



◆石川 修さん (伊達市)

青少年健全育成成功労者として、伊達市青少年育成市民会議会長（伊達市長）から表彰。(H30年12月)



事務局だより

■「福島地区だより」と「東北電友会報」重複掲載記事の廃止について

従来まで、福島地区で行った会議及び催し物などについて、「地区だより」と「東北会報」双方に掲載していましたが、創刊時期・配布時期が同じであることから、「東北会報」に掲載した記事については「地区だより」への掲載を廃止することにしました。

なお、今回配布される「東北会報第84号」に掲載された記事は次のとおりです。

1. 第1回役員会兼地域担当幹事会議
2. 第2回役員会
3. サークル代表者会議
4. 文化講演会
5. NTT福島グループOB・OG交流会

■3月まで予定の催し物等について

1. 平成31年1月24日(木)
15時から
新春の集い新年会
エクセルホテル福島恵比寿
会費 4,000円
2. 平成31年3月26日(火)
13時30分から
第4回役員会
NTT花園ビル2階 会議室

■「菊の里」チャリティバザーに協力

二本松市にある、障害者支援施設「菊の里」で、毎年開催されているチャリティバザーに、今年も、会員10名から32点の善意のチャリティ品提供がありました。

早速施設にお届けし大変感謝されております。協力頂いた会員の皆さんありがとうございます。

なお、バザーは11月18日二本松市福祉センターで開催され、245,874円の収益金

があったとの報告が施設からありました。



提供品の一部

■電友会ロゴマークの変更について

従来、NTTグループOBの会「電友会」として来ましたが、会員には女性会員も多数いることから、NTTグループOB・OGの会「電友会」と改めたことに伴い、ロゴマークも変更になりましたのでお知らせ致します。

なお、現在使用中の「会員証」「バッジ」などは、改めて取り換えませんので、そのまま使用して下さい。

現在品の在庫がなくなりましたら、新たな会員への配布分から、新ロゴマーク入りの物で配布する予定です。



新ロゴマーク

これから、寒さの厳しい時期を迎

えますので、健康には十分注意し

ましょう。

